

情 報 公 開 文 書

研究の名称	肝炎アラートシステムによる肝炎患者拾い上げの効果の検証
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学附属病院 第三内科 准教授 田尻和人
研究の概要	<p>【研究対象者】 電子カルテアラートシステム投入後の 2022/2/1-2022/7/31 の 6 か月間と 2023-2025 年の対象となる 6 か月間に当院を受診し、血液検査による肝炎検査 (HBsAg, HBcAb, HBsAb, HCV-Ab) が行われた患者さん 対照として電子カルテアラートシステム導入前の 2021/2/1-2021/7/31 の 6 か月間に当院を受診し、肝炎検査 (HBsAg, HBcAb, HBsAb, HCV-Ab) が行われた患者さん</p> <p>【研究の目的・意義】 当院においては、2022 年 1 月の電子カルテシステムの更新の際に、肝炎検査結果アラートシステムが導入され、肝炎検査結果陽性の場合、電子カルテ上に通知が出るようになったが、適切な対策がとられていないケースが散見されます。今回、電子カルテアラートシステム導入前後で、肝炎ウイルス対策に変化があったのかを検証し、肝炎患者に対する対応の最適化に向けての課題を抽出し、その改善につなげることを目的とします。電子カルテアラートシステムは検査結果陽性の医療者側に認知させる有用な手段ですが、適切な対応までつながらない場合も多く、今回の研究でその実際を明らかにします。</p> <p>【研究の方法】 電子カルテアラートシステム投入後の 2022/2/1-2022/7/31 の 6 か月間と 2023-2025 年の指定の 6 か月間に当院を受診した患者さんと電子カルテアラートシステム導入前の 2021/2/1-2021/7/31 の 6 か月間に当院を受診した患者さんにおいて、肝炎検査 (HBsAg, HBcAb, HBsAb, HCV-Ab) 結果を抽出し、陽性患者において、適切な対応がとられているかを検証し、導入後と比較します。</p> <p>【研究期間】 2022 年 11 月 10 日 ～ 2027 年 3 月 31 日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 2026-7 年度中にとりまとめ、院内で情報の共有を行い、また研究結果に関して新規性があれば 2026-7 年度に関連学会および医学雑誌に発表の方針です。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	血液検査の肝炎検査 HBsAg, HBcAb, HBsAb, HCV-Ab 結果 第三内科紹介などの対応の有無につきカルテ記載より検討 他機関への情報の提供はない
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	研究責任者：第三内科 田尻 和人
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者 (研究主機関における研究責任者氏名)	第三内科 田尻和人

研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7301 FAX 076-434-5027 E-mail tajikazu@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 第三内科 田尻和人
--------------------------	--